

第53回滋賀県工芸美術協会展

(主催：滋賀県工芸美術協会 / 代表者：三原サダ子 / 事業番号：0629-0106)



● 第53回滋賀県工芸美術協会展について

長年にわたり、県内で活躍する工芸美術作家相互の研鑽と精進を図り、本県をはじめ近隣県府民の心を癒し、滋賀県の文化芸術の向上と発展に寄与することを目的として、年に1回、陶芸・染織・漆芸・金工・木工・籐芸・硝子・諸工芸の会員の最新作品を展示しています。コロナ禍を鑑み、昨年は初のインターネット展を開催し、本年はリアル会場との同時開催を企画しましたが、ウイルスの新種株発生等々の理由により本年もインターネット上での展示のみとなりました。閲覧数はのべ13,244回。コロナ禍中で少しでも多くの人に心の癒しと文化的な時間を提供できたのであれば幸いです。

◎名 称 第53回滋賀県工芸美術協会展

◎主 催 滋賀県工芸美術協会

◎期 間 令和3年11月24日(水)～令和4年1月31日(日)

◎会 場 滋賀県工芸美術協会ホームページ (<https://shigakoubi.net/>)

◎出品作家 三原サダ子、今井きよ美、猪谷陽子、臼井浩明、
宇部裕子、加藤和宏、加藤喜代司、加藤敏雄、神崎継春、
菊徳子、菊池睦子、北川美千代、木村隆、神山直彦、小嶋一浩、
小嶋太郎、小林正雄、田川泰子、竹村智之、中井和仁、中條芳徳、
西郡公、高橋政男、濱地弘子、平井恵子、廣田千恵、藤井収、
増田晴香、丸山敦子、宮崎芳郎、(計30人)



● 作品一覧ページ

滋賀県工芸美術協会

2021/11/24~2022/1/31

第53回滋賀県工芸美術協会展

〈主催〉 滋賀県工芸美術協会
〈後援〉 滋賀県・滋賀県教育委員会・草津市・草津市教育委員会・大津市・大津市教育委員会・公益財団法人 秀明文化財団・公益財団法人 平和堂財団・京都新聞・BBCびわこ放送・NHK大津放送局

陶芸

染織

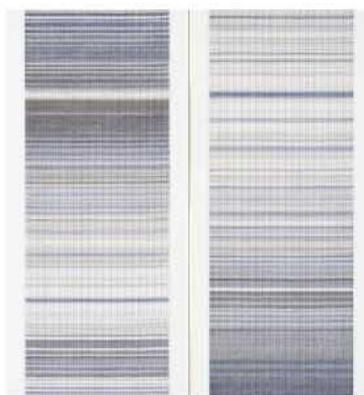
漆芸

木工

金工

藤芸

硝子



● 作品紹介 ～ 作者紹介ページ



京一玄関

三原 サダ子

コロナ禍で外出も出来ず不安な気持ちで耐えている私達の心を映している如く、駅ビルに向いの景色が歪んで映る様子を制作。化学染料、染色クレヨン使用。

- 作品使用素材：麻、綿、混紡布
- 作品サイズ：横145.5×縦112



滋賀県生まれ

1971年 中京女子大学卒業

1974年 桑沢デザイン研究所ドレス研究科テキスタイル専攻卒業

商社に企画デザイナー勤務

1982年 あいごうかホール緞帳原画図案採用される

1983年 全関西美術展初入選(創作活動開始)

以降滋賀県美術展覧会特選6回、大津・草津・守山各市展無鑑査

1989年 国際絞りコンペティション入選

1993年 平和堂財団芸術奨励賞受賞

2001年 成安造形短期大学専攻科卒業

国立京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、光華女子大学にて単位互換

日展初入選

日本新工芸展初入選

2004年 日本新工芸展近畿展読売テレビ賞受賞('09)

2007年 日本新工芸展近畿展受賞

● 会員からの意見・感想

- ・ SNS での誘導が手軽に出来る。知人から知人へも案内してもらえた。
- ・ 会場に行かずに観られるので、海外や遠方のいる知人にも案内が出来る。
- ・ 美術館やギャラリーに馴染みがなく立ち寄るには気が重い方、子供がいて会場に行くには気をつかう方でも簡単に観る事が出来る。
- ・ スマホでは細かい作品、素材の質感等、見えにくい部分がありますが、実物を見たいと思っていただければ、今後の美術館展示等への案内につながると思います。
- ・ カルチャーセンターの講師の問い合せがあり、一定の信頼を得ていると感じた。
- ・ やはり作品は実物を見ていただきたい。次回は是非と実会場でやりたい。
- ・ インターネット上にアーカイブ資料を蓄積していく仕組みが出来た事は、将来の大きな財産になった。

● 配布チラシ DM



チラシ 3000 枚、DM2000 枚を配布。手がテーマのデザイン